

「自己を見つめること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「温かい心で親切に」（内容項目：B 親切、思いやり）
- 2 教材名「はしの上のおおかみ」（出典「はばたこうあすへ」教育出版）
- 3 主題設定の理由

「親切、思いやり」に関する内容項目は、低学年においては「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」とされている。相手を受け入れ、相手の立場や気持ちを考えることを通して手を差し出す姿勢が求められる。また、単に手を差し伸べるだけでなく、温かく見守ることも大切な考え方である。低学年という段階においては、自分中心の考え方をすることが多いが、相手の立場を考え思いやることの大切さを感じられるようにしていくことが重要である。様々な人との関わりの中で相手のことを考え、優しく接することができるようにしたい。

相手の気持ちを考え行動することは、小さなころから何度も指導されてきたことである。しかし、実際には見えない相手の気持ちや心情を捉え行動することは難しく、時には自分本位な行動になったり、相手に対して強い言動になってしまったりしていることもある。これまでの道徳の学習では、「親切にされたら心がぽかぽかする。」「お礼を言われると嬉しい。」という発言も見られ、少しずつではあるが相手を思いやる心情が育ってきているようにも感じる。

本教材は、一本橋で出会った小さな動物たちに意地悪をしていたおおかみが、体が大きくなって出会い親切にされたことで、親切にすることの素晴らしさに気づき、これまで意地悪をした動物たちに優しく接するようになるというものである。ここでは、意地悪を楽しんでいる気持ちを理解させるために、あえて意地悪をするおおかみの気持ちを想像させる。また、意地悪をされたうさぎたちの気持ちと自分の生活を関連付けて考えさせることで、意地悪をされた側の気持ちや友達の気持ちに気付かせていく。

4 本時のねらい

おおかみの行動について考えたり、演じてみたりすることを通して、優しい気持ちをもってすすんで親切な行動をしようしたり、相手の気持ちを考え、思いやりの心をもって行動したりする道徳的態度を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 役割演技を設定することで、おおかみの心情を明確にとらえ、親切にしてもらった時の心情を感じられるようにする。
- ② 役割演技を通して、親切にすることでお互いが気持ちよくなることに気付けるようにする。
- ③ 振り返りの段階において、これから周りの人とどのように関わっていくかを考え、自分ごととして捉えられるようにする。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問（主発問◎） ・予想される児童の発言	留意点や評価の観点（☆）等
導入	<p>1 「親切にしてもらったこと」について考える。</p> <p>○ 今まで友達などに優しくされて嬉しかったことはありますか。※ペア交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泣いているときに、大丈夫？と言ってくれた。 ・えんぴつを拾ってくれた。 ・一緒に遊んでくれた。 <p>→アンケートの内容も紹介する。</p> <p>○ 優しくされたとき、みんなはどんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。 ・またしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想起しやすいよう、ペアで話し合う時間を取る ・身近な学校生活の中で優しくされたことについてアンケートを事前に行い、活用する。
展開	<p>2 学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>やさしくしたり、されたりするとどんな気持ちになるのかな。</p> </div> <p>3 教材「はしの上のおおかみ」を読んで話し合う。</p> <p>○ 動物たちに「こら、こら、もどれ、もどれ。」と言ったおおかみは、どんな気持ちだったでしょう。【役割演技（教師）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俺の方が強いからどけ。 ・意地悪するのは楽しいな。 ・面白いな。 <p>○ くまの後ろ姿を見送ったとき、おおかみはどんなことを考えていたでしょう。【役割演技（児童①）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くまさんは優しいな。 ・みんなによくないことしちゃったな。 ・僕もみんなに優しくしよう。 <p>○ うさぎを抱き上げ、うしろにそっと下ろしたとき、おおかみはどんな気持ちだったでしょう。【役割演技（児童②）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんが喜んでくれてよかった。 ・次からも優しくしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時では、「やさしくしたり、されたりするとどんな気持ちになるのか。」について考えることを伝える。 ・教師が役割演技を行い、それぞれがどんな気持ちでいるかを想像させる。 ・初めからおおかみを悪い存在として認識しないよう、意地悪を楽しむおおかみに共感させるようにする。同時に、意地悪をされている動物たちについても考えさせる。 ・教師が指名して役割演技をさせ、その際のおおかみの気持ちを考えさせる（教師がナレーター役）。

	<ul style="list-style-type: none"> ・優しくするといい気持ちになるな。 ◎ どうしておおかみは、前よりずっといい気持ちになったのでしょうか。※ペア交流 <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎさんが嬉しそうにしてくれたから。 ・親切にした方が気持ちいいから。 ・自分もうれしくなるから。 4 学習課題について考える。 ○ やさしくしたり、されたりするとどんな気持ちになりましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・嬉しくなる。 ・心があたたかくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆役割演技を通して、気付いたことを伝えようとしている。 ・おおかみに親切にされた動物たちの気持ちにも触れ、お互いにいい気持ちになることに気付かせる。
<p style="text-align: center;">終 末</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5 これからの自分の行動について考える。 ○ 自分や友達があたたかい気持ちになるにはどうしたらいいでしょう。※自由交流→全体交流 <ul style="list-style-type: none"> ・いじわるをしないで優しくする。 ・親切をして、いい気持ちになるようにする。 ・相手のことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習から、親切にすることの素晴らしさや大切さに気付かせ、これからの生き方につなげていけるよう考えさせる。 ・友達と交流して新しく気付いたことは青鉛筆でワークシートに書き加えさせる。 ☆これから人と関わっていく中で大事なことを、自分の生き方と関連付けながら考え、ワークシートに書いている。